

平成24年度「平和への誓い」

67年前、一発の原子爆弾によって、広島街は、爆風がかけめぐり、火の海となりました。たくさんの人の尊い命が、一瞬のうちに奪われました。

建物の下敷きになった人、大やけどを負った人、家族を探し叫び続けた人。身も心も深く傷つけられ、今もその被害に苦しむ人がたくさんいます。

あの日のことを、何十年もの間、誰にも、家族にも話さなかった祖父。ずっとずっと苦しんでいた。でも、一生懸命話してくれた。

戦争によって奪われた一つ一つの命の重み。

残された人たちの生きようとする強い気持ち。

伝えておきたいという思いが、心に強く響きました。

故郷を離れ、広島小学校に通うことになったわたしたちの仲間。

はじめは、震災のことや福島から来たことを話せなかった。

家族と一緒に生活できないこと、突然、友だちと離ればなれになり、今も会えないこと。でも、勇気を出して話してくれました。

「わかってくれて、ありがとう。広島に来てよかった。」

その言葉がうれしかった。

つらい出来事を、同じように体験することはできないけれど、わたしたちは、想像することによって、共感することができます。悲しい過去を変えることはできないけれど、わたしたちは、未来をつくるための夢と希望をもつことができます。

平和はわたしたちでつくるものです。

身近なところに、できることがあります。

違いを認め合い、相手の立場になって考えることも平和です。

思いを伝え合い、力を合わせ支え合うことも平和です。

わたしたちは、平和をつくり続けます。

仲間とともに、行動していくことを誓います。

平成24年（2012年）8月6日

こども代表 広島市立比治山小学校 6年 三保 竜己
広島市立安北小学校 6年 遠藤 真